

# アフリカ 未来の大陸に対する 新しい経済チャレンジ

---

国際協力銀行  
外国審査部参事役  
古高 輝顕

### 目次

アフリカ市場の概観

4ページ

資源とアフリカ

7ページ

アフリカへの資金の流入

11ページ

当面の成長見通し

14ページ

人口の増加

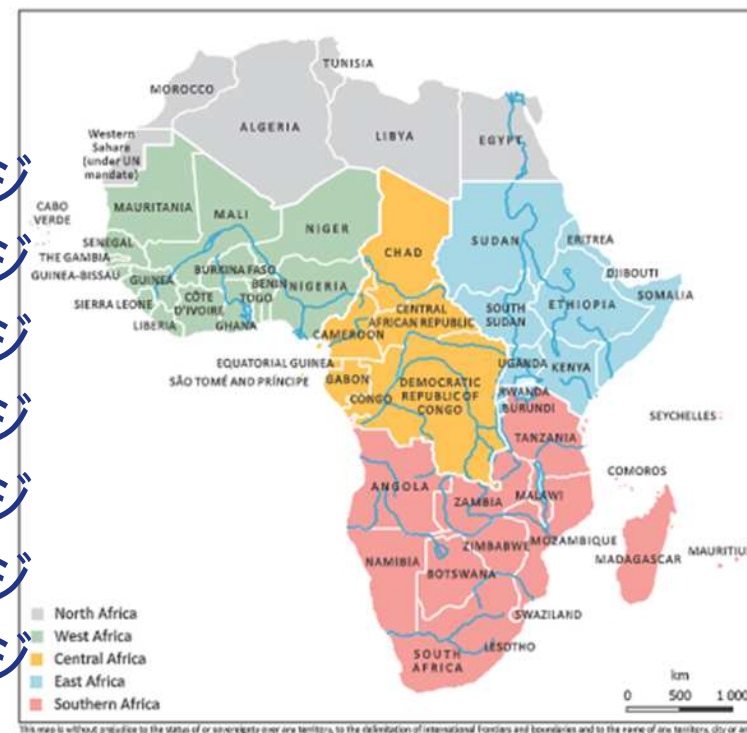
16ページ

アフリカ向け投資

19ページ

(まとめ)アフリカ～ビジネスの相手として

26ページ



(出所) IEA

### アフリカ市場の概観

アフリカは、2016～17年は低成長となるが、アジアに次ぐ成長センターであった。

#### IMF 2016年10月世界経済見通し

(年率：%)

	Average										Projections		
	1998-2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2021	
<b>World</b>	4.2	3.0	-0.1	5.4	4.2	3.5	3.3	3.4	3.2	3.1	3.4	3.8	
<b>Advanced Economies</b>	2.8	0.1	-3.4	3.1	1.7	1.2	1.2	1.9	2.1	1.6	1.8	1.7	
<b>Emerging Market and Developing Economies</b>	5.8	5.8	2.9	7.5	6.3	5.3	5.0	4.6	4.0	4.2	4.6	5.1	
Commonwealth of Independent States	6.2	5.3	-6.3	4.7	4.7	3.5	2.1	1.1	-2.8	-0.3	1.4	2.4	
Emerging and Developing Asia	7.6	7.2	7.5	9.6	7.9	7.0	7.0	6.8	6.6	6.5	6.3	6.4	
Emerging and Developing Europe	4.2	3.1	-3.0	4.7	5.4	1.2	2.8	2.8	3.6	3.3	3.1	3.2	
Latin America and the Caribbean	3.1	4.0	-1.8	6.1	4.6	3.0	2.9	1.0	0.0	-0.6	1.6	2.7	
Middle East and North Africa	5.3	4.8	1.5	4.9	4.5	5.0	2.4	2.7	2.3	3.4	3.4	3.9	
<b>Sub-saharan Africa</b>	5.2	5.9	3.9	7.0	5.0	4.3	5.2	5.1	3.4	1.4	2.9	4.2	

(note) Afghanistan and Pakistan are included in Middle East and North Africa

(出所)IMF WE O2016/10

## アフリカ市場の概観

とはいえ、市場規模は大きくない。

アフリカ  
(2.26兆ドル)

サブサハラアフリカ  
(1.57兆ドル)

アフリカ全体でも経済規模は先進国1国を下回る規模。上位6か国(GDP1000億ドル超)でアフリカ全体のGDPの2/3を占める。

ナイジェリアと南アフリカでサブサハラGDPの半分を占める。

GDP各国比較表(2015年)

	国名	GDP (billion dollars)	World share	GDP per capita (dollars)
1	米国	17947.0	24.5%	55,805
2	中国	10982.8	15.0%	7,990
3	日本	4123.3	5.6%	32,486
4	ドイツ	3357.6	4.6%	40,997
5	英国	2849.3	3.9%	43,771
6	フランス	2421.6	3.3%	37,675
7	インド	2090.7	2.9%	1,617
8	イタリア	1815.8	2.5%	29,867
9	ブラジル	1772.6	2.4%	8,670
10	カナダ	1552.4	2.1%	43,332
11	韓国	1376.9	1.9%	27,195
12	ロシア	1324.7	1.8%	732
13	オーストラリア	1223.9	1.7%	50,962
14	スペイン	1199.7	1.6%	25,865
15	メキシコ	1144.3	1.6%	9,009
16	インドネシア	859.0	1.2%	3,362
17	オランダ	738.4	1.0%	43,603
18	トルコ	733.6	1.0%	9,437
19	スイス	664.6	0.9%	80,675
20	サウジアラビア	653.2	0.9%	20,813
(アフリカ主要国)				
24	ナイジェリア	490.2	0.7%	2,742.9
32	エジプト	330.8	0.5%	3,740.2
33	南アフリカ	313.0	0.4%	5,694.6
55	アルジェリア	172.3	0.2%	4,318.1
60	モロッコ	103.1	0.1%	3,078.6
61	アンゴラ	103.0	0.1%	4,100.3
(参考)				
21	アルゼンチン	585.6	0.8%	13,588.8
29	イラン	387.6	0.5%	4,877.1
31	アラブ首長国連邦	345.5	0.5%	36,060.0
27	タイ	395.3	0.5%	5,742.3
35	マレーシア	296.2	0.4%	9,556.8
40	フィリピン	292.0	0.4%	2,858.1

(出所) IMF WRO 2016/4

## アフリカ市場の概観

そのうえ、アフリカの市場は細分化されている。

	アフリカ	南米	ASEAN	日本
面積(千km)	30,311	17,832	4,487	378
人口(百万人)(2013年)	1,085	400	612	127
国数	54	12	10	-
GDP(十億ドル)(2015年)	2,262	3,546	2,436	4,123
国あたりGDP(十億ドル)	43	295	244	4,123
国あたり面積(千km)	572	1,486	449	378
一人あたりGDP(ドル)	2,085	8,864	3,980	32,467

(注) アフリカの人口、GDPデータはソマリアを除く53か国ベース。

(出所) IMF(2014及び2016)。面積は「2015データブック」

### アフリカ市場の概観

アフリカとして、一口ではくれない。地域によって経済状況は異なる。

地域別では、アラブの春の影響を受けた北アフリカの最近の成長率が低い。

東アフリカ地域は特に成長ペースが早い。

地域別成長率推移 (%)

	2013	2014	2015	2016	2017
アフリカ	3.5	3.7	3.6	3.7	4.5
北アフリカ	1.6	1.4	3.5	3.3	3.8
サブサハラ	4.7	5.0	3.6	4.0	4.9
東アフリカ	4.7	6.5	6.3	6.4	6.7
中央アフリカ	4.1	6.1	3.7	3.9	5.0
西アフリカ	5.7	6.0	3.3	4.3	5.5
南部アフリカ	3.6	2.8	2.2	1.9	2.8
南ア以外	5.4	5.9	4.2	4.7	5.6

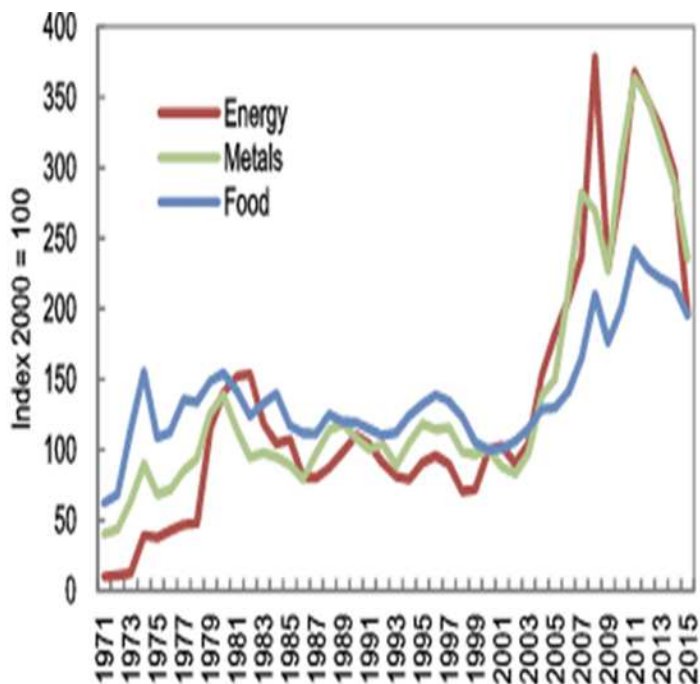
(注) 2015年は推定値。2016～17年は予測値。

(出所) AFDB, OECD, UNDP “African Economic Outlook”

### 資源とアフリカ

資源価格の上昇はアフリカの成長を大きくサポート。  
ただし、資源価格は2011～13年頃には頭打ち、その後、下降局面に。

資源価格の推移



(出所) IMF REO 2016/04

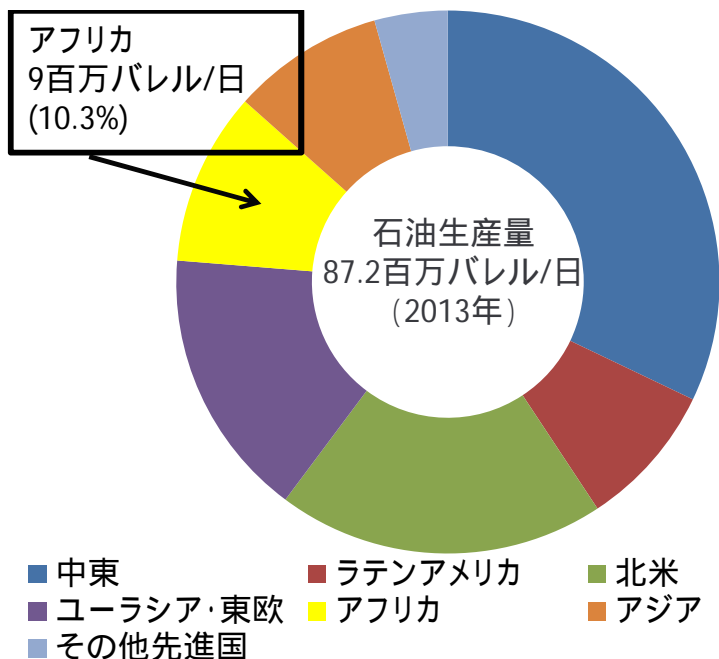
石油価格低下の影響

	2013年 石油/GDP (%)	石油価格(100 75ドル) のGDPへの影響 (%)
アルジェリア	29.6	-1.0
アンゴラ	40.6	-2.7
カメルーン	7.4	-0.6
チャド	27.4	-2.3
コンゴ	58.0	-2.6
赤道ギニア	74.1	-1.5
ガボン	40.0	-1.3
ナイジェリア	32.4	-1.4

(出所) African Economic Outlook 2015

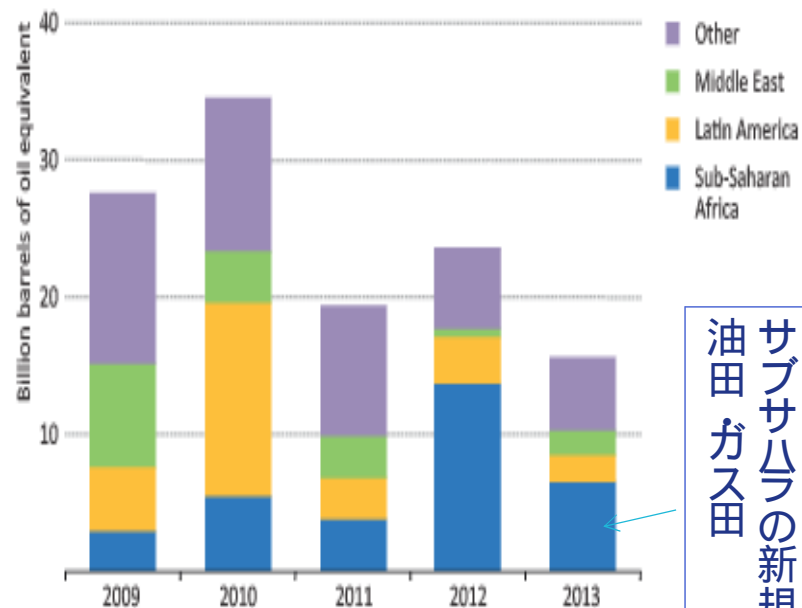
### 資源とアフリカ

アフリカの石油・ガス生産の世界に占める比率は5～10%程度。ただし、(油価が右肩上がりの)2000年代前半に新規に発見された油田・ガス田に占めるサブサハラの比率は高く、今後も一定のポテンシャルはありとみられる。



(出所) IEA World Energy Outlook 2015

### 新規に発見された油田・ガス田



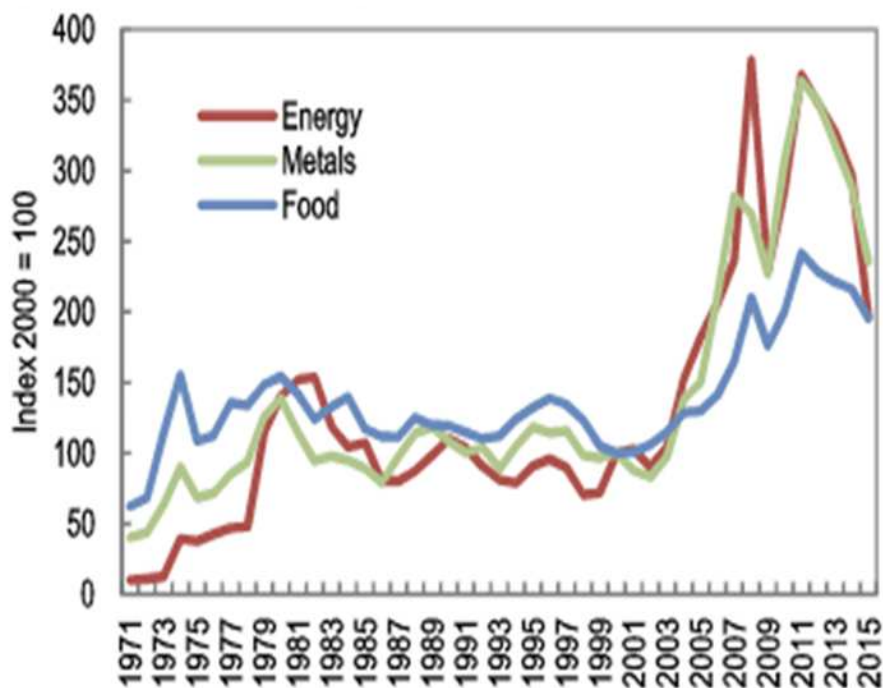
(出所) IEA Africa Energy Outlook(2014)



### 資源とアフリカ

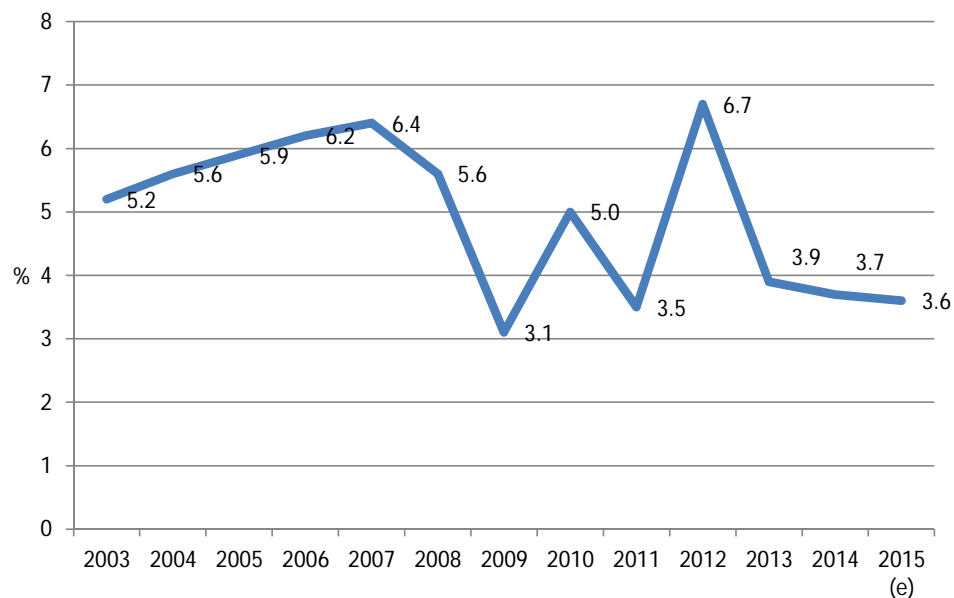
資源価格がピークアウト/下落した後も、アフリカは3.5～4%の成長を維持していた。

資源価格の推移



(出所) IMF REO 2016/04

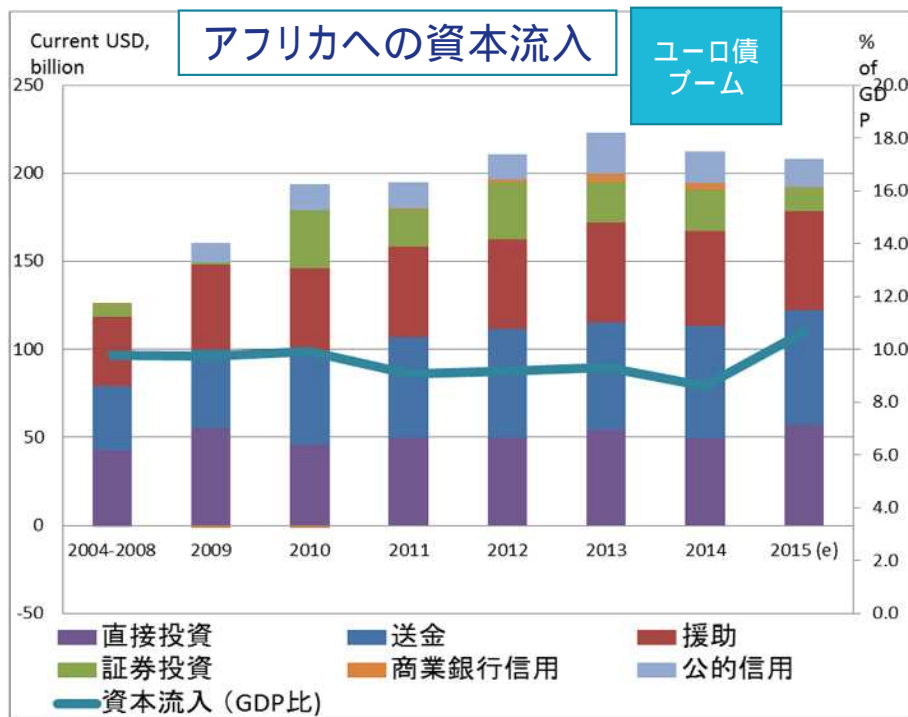
アフリカの成長率推移



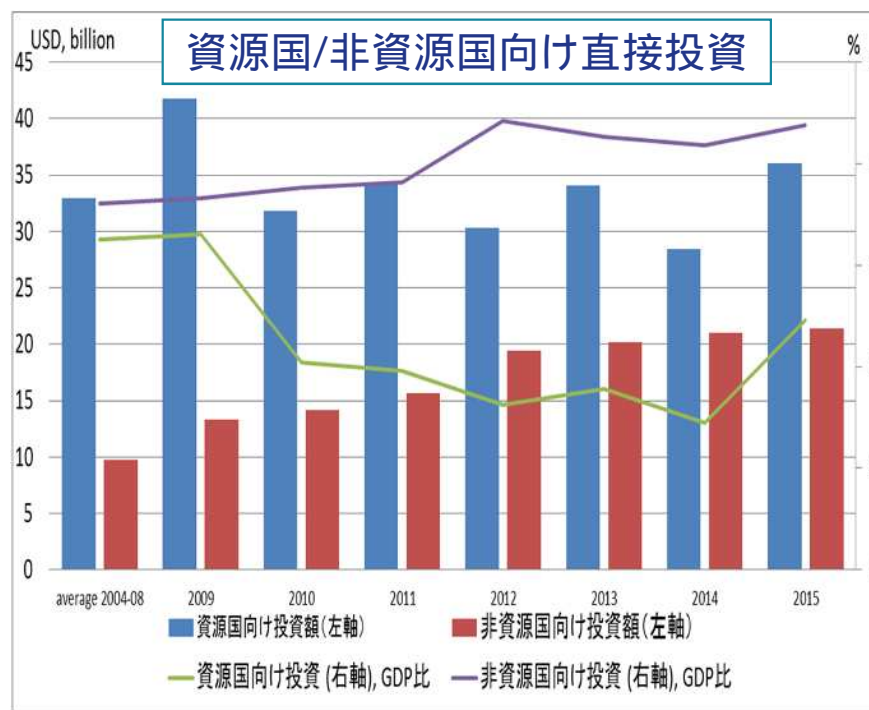
(出所) AFDB, OECD, UNDP African Economic Outlook 2016

### アフリカへの資金の流入

アフリカへの資金の流入は資源価格の低下後も維持。援助だけでなく、直接投資や外国送金の形での資金流入が増えてきており、アフリカの成長を支えている。非資源国向け直接投資が増加。



(出所) African Economic Outlook 2016



(出所) African Economic Outlook 2016

## アフリカへの資金の流入

2015年に入って国際資本市場環境は悪化傾向。産油国を中心に格下げも相次ぐ。

新興国スプレッド推移



格付推移

	S&P		Moody's	
	2015/1/30	2016/9/30	2015/1/23	2016/9/30
エジプト	B-	B-	Caa1	B3
モロッコ	BBB-	BBB-	Ba1	Ba1
ナイジェリア	BB-	B+	Ba3	B1
南アフリカ	BBB-	BBB-	Baa2	Baa2
アンゴラ	BB-	B	Ba2	B1
ケニア	B+	B+	B1	B1
ガーナ	B-	B-	B2	B3
ガボン	BB-	B(*)	Ba3	B1
ウガンダ	B	B	B1	B1
モザンビーク	B	CCC	B1	Caa1

(\*)2016年4月に格付停止

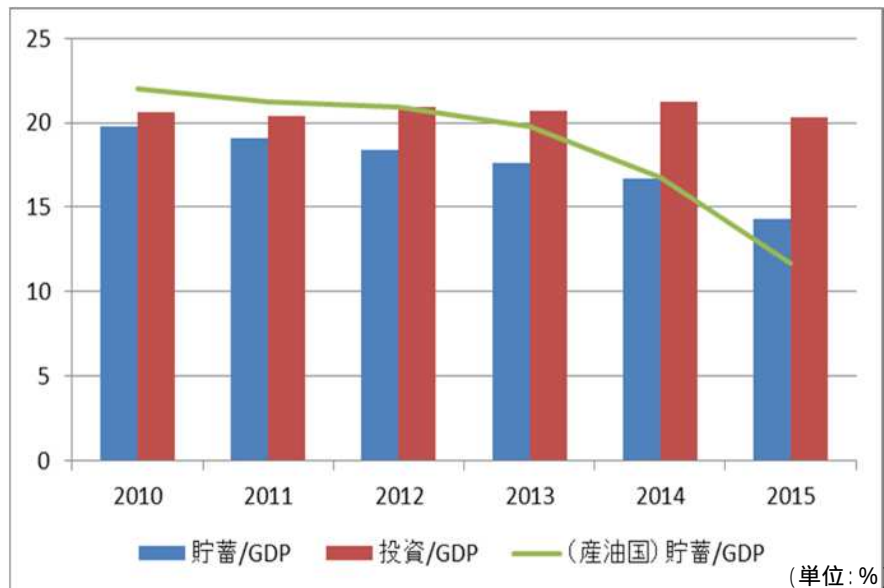
## アフリカへの資金の流入

投資はGDP成長率に沿って増加。ただし、産油国の財政悪化に伴う貯蓄率の低下が、サブサハラ諸国の経常収支赤字を拡大させている。海外からの資金でファイナンスできなくなると、投資は抑制される。

サブサハラアフリカの投資・貯蓄推移



(出所)IMF WEO 2016/04



(出所)IMF WEO 2016/04

## 当面の成長見通し

各機関で相次ぐ下方修正。2016年の見通しには幅があるが、2015年より落ち込み、近年のボトムとなる見込み。

IMFのサブサハラ成長率見通し

予測時期	2016	2017
2015年10月	3.8%	4.3%
2016年4月	3.0%	4.0%
2016年7月	1.6%	3.3%
2016年10月	1.4%	2.9%

(参考)世界成長率

2015年10月	3.1%	3.6%
2016年4月	3.2%	3.5%
2016年7月	3.1%	3.4%
2016年10月	3.1%	3.4%

世銀のサブサハラ成長率見通し

予測時期	2016	2017	2018
2016年1月	4.2%	4.7%	4.7%
2016年6月	2.5%	3.9%	4.4%
2016年10月	1.6%	2.9%	3.6%

(参考)世界成長率

2016年1月	2.9%	3.1%	3.1%
2016年6月	2.4%	2.8%	3.0%
2016年10月	2.3%	2.7%	2.9%

AFDB/OECD/国連のアフリカ成長率見通し

予測時期	2016	2017
2015年5月	5.0%	-
2016年5月	3.7%	4.5%

## 当面の成長見通し

サブサハラの成長率低下には、GDPの半分を占めるナイジェリアや南アフリカの経済停滞の影響が大きい。しかし、非産油国などでは高成長国もみられ、国によって状況は多様。

	ナイジェリア	南アフリカ	アンゴラ	ケニア	タンザニア	エチオピア	コートジボワール	ガーナ
2016	-1.7%	0.1%	0.0%	6.0%	7.2%	6.5%	8.0%	3.3%
2017	0.8%	0.8%	1.5%	6.1%	7.2%	7.5%	8.0%	7.4%

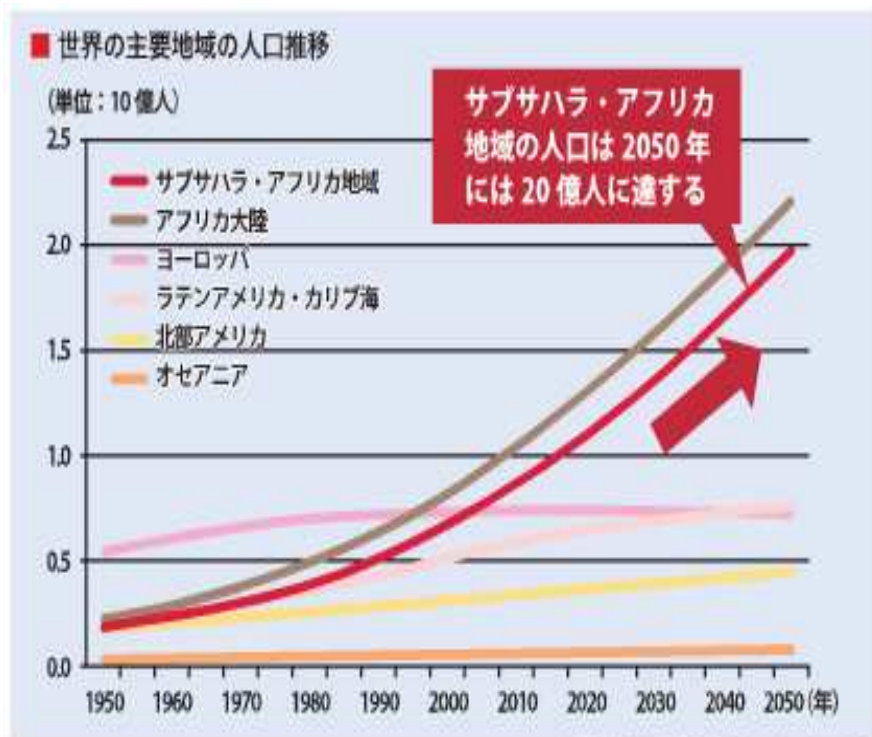
	サブサハラ 全体	産油国	中所得国 (*)	低所得国 (*)	非資源依存 22カ国
2016	1.4%	-1.7%	1.9%	5.4%	5.6%
2017	2.9%	0.8%	2.9%	5.8%	6.2%

(\*)産油国除く

(出所) IMF WEO2016/10, REO2016/10

### 人口の増加

人口増加は今後、他地域を凌ぐ。向こう15年間で40%増。



出所: 国際連合経済社会部人口部データをもとに作成

(出所) JBIC TODAY 2016/05(元データ: UN World Population Prospects)

### 世界の人口上位12か国の推移

		(単位: 百万人)					
		2015		2050		2100	
1位	中国	1,376	インド	1,705	インド	1,660	
2位	インド	1,311	中国	1,348	中国	1,004	
3位	米国	322	ナイジェリア	399	ナイジェリア	752	
4位	インドネシア	258	米国	389	米国	450	
5位	ブラジル	208	インドネシア	321	コンゴ共和国	389	
6位	パキスタン	189	パキスタン	310	パキスタン	364	
7位	ナイジェリア	182	ブラジル	238	インドネシア	314	
8位	ハンガリー	161	ハンガリー	202	タンザニア	299	
9位	ロシア	143	コンゴ共和国	195	エチオピア	243	
10位	メキシコ	127	エチオピア	188	ニジェール	209	
11位	日本	127	メキシコ	164	ウガンダ	203	
12位	フィリピン	101	エジプト	151	エジプト	201	

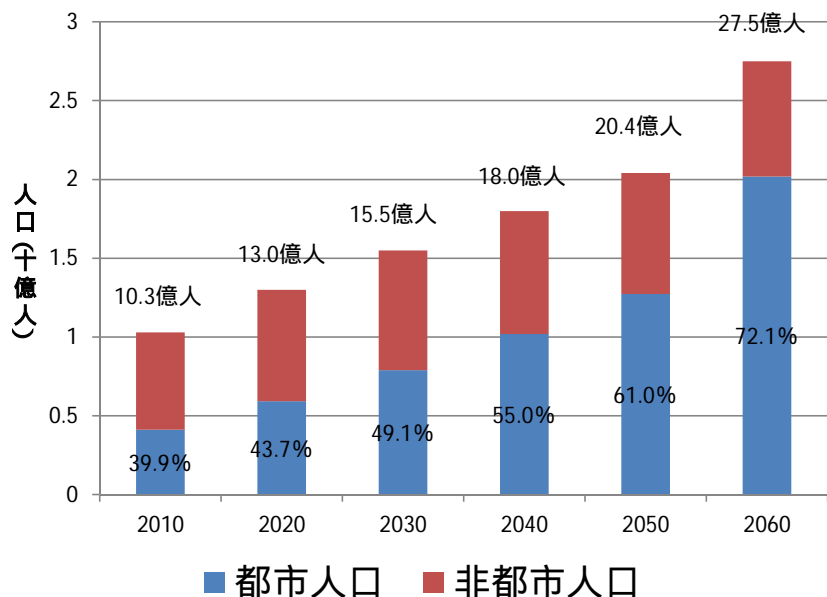
(出所) UN World Population Prospects(2015 Revision)



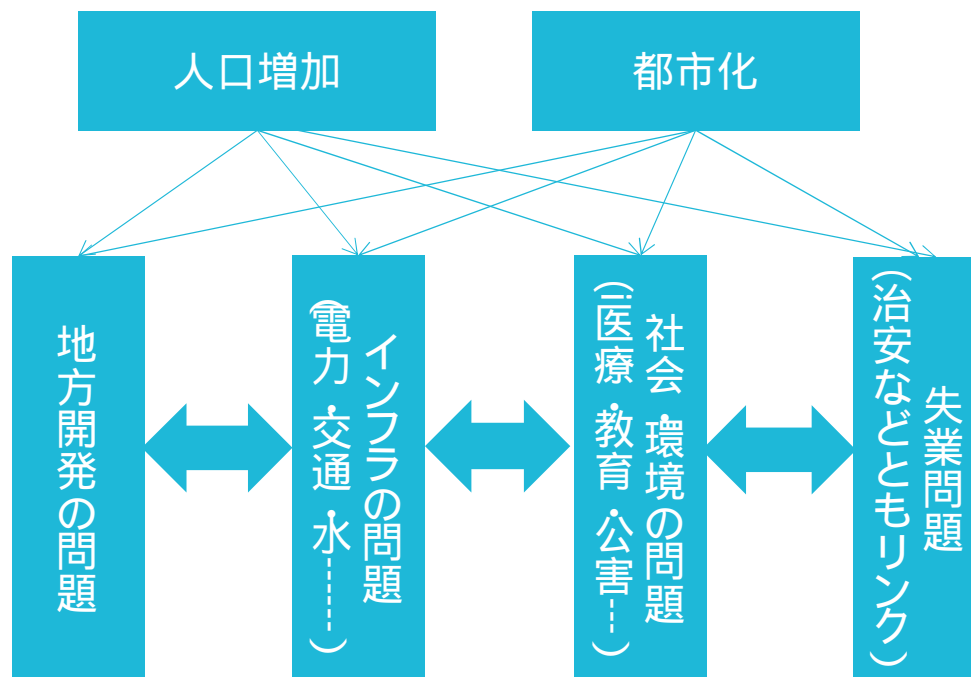
### 人口の増加

人口増加は、都市化の問題、インフラの問題、環境の問題など、様々な問題を伴う。人口増加のペースが早い  
ため、問題の深刻化のスピードは速い。

都市化の進展



(出所) AFDB Africa in 50 Years' Time (2011)

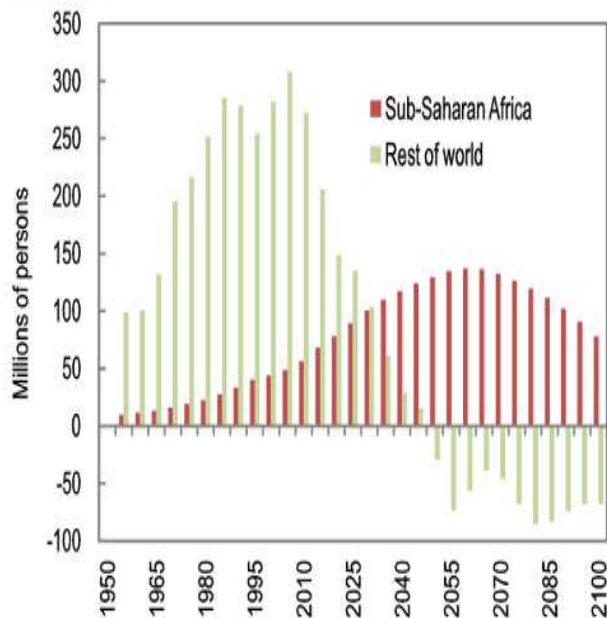




## 人口の増加

労働人口増加は中期的成長に寄与。アフリカの人口ボーナスはこれから拡大。

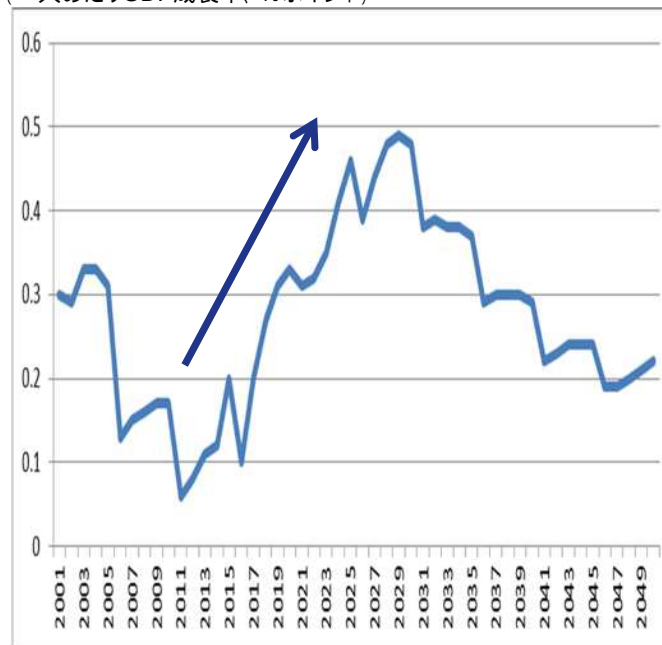
労働人口(15~64歳)の推移



(出所)IMF REO 2015/4

労働力増加に伴う1人当たりGDP成長率の増加

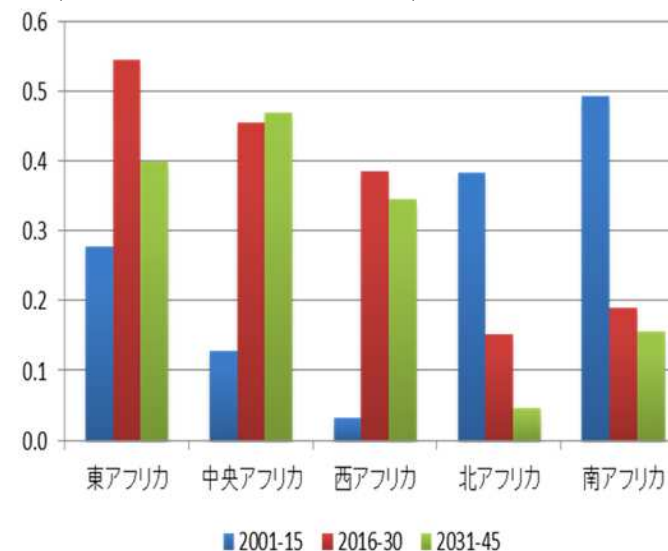
(一人あたりGDP成長率、%ポイント)



(出所) African Economic Outlook 2016

人口ボーナスの地域別内訳

(一人あたりGDP成長率、%ポイント)



(出所) African Economic Outlook 2016

### アフリカ向け投資～問題点と対策

#### 狭い市場

(問題)

アフリカの1国あたりGDPは小さい  
アフリカ域内貿易は増えつつあるが、国境を跨ぐインフラ整備や経済統合にはまだ時間がかかる。



(対策)

大きな国から攻める or  
十分な規模のプロジェクトを行う。



攻めやすい国から攻める。  
将来的には拠点国から地域全体へ展開を意識  
(例: 南ア→サブサハラ/南部アフリカ  
ケニア→東アフリカ)

#### 投資環境/カントリーリスク

(問題)

法制度、法の運用、許認可、ガバナンス、ローカルコンテンツ規制、インフラの未整備、治安など政府の責任に由来する投資環境の問題点(カントリーリスク)が投資の障害に。  
信頼できるローカルパートナーの不足、情報不足。  
労働コストなどもトータルで見ると安くない  
不安定な為替レートや金融環境(特に現地通貨建事業)



(対策)

ホスト国の適切な選択  
政府にとっての重要案件を公的機関等と連携して行う  
リスクコントロールのできるローカル/外資パートナーと組む or  
ローカルのリソース/人材を活用・管理するマネージメント  
保険などリスクヘッジ商品の活用・・・etc.



### アフリカ向け投資 ~ ビジネスの機会としてのアフリカ

途上国向けの主な  
直接投資のパターン

資源

資源ビジネスのポテンシャルはある  
資源価格低迷の下で経済性を確保できるか  
政府の施策やポリティカルリスクの存在

インフラ

インフラ投資ニーズ大。プロジェクトによっては事業規模も大  
ファイナンスソースは従来の援助から多様化  
国を跨ぐインフラの整備事業は時間がかかる

国内市場

中間層、BOPなど多様なビジネス機会  
ビジネスマネージメント(現地化)をどのように進めるか  
国を超えた事業展開の可能性?(地域統合の動き)

生産拠点

物流・インフラの弱さ、大市場からの距離、労働コストが相対的に必ずしも安くないことから、輸出拠点としての魅力は一般に小さい

欧州産業の誘致に成功するモロッコのような事例も

### アフリカ向け投資～投資の誘因

国内市場の成長性がアフリカ向け直接投資の最大の誘因。

アフリカ向け直接投資の決定要因 (2003～14年)

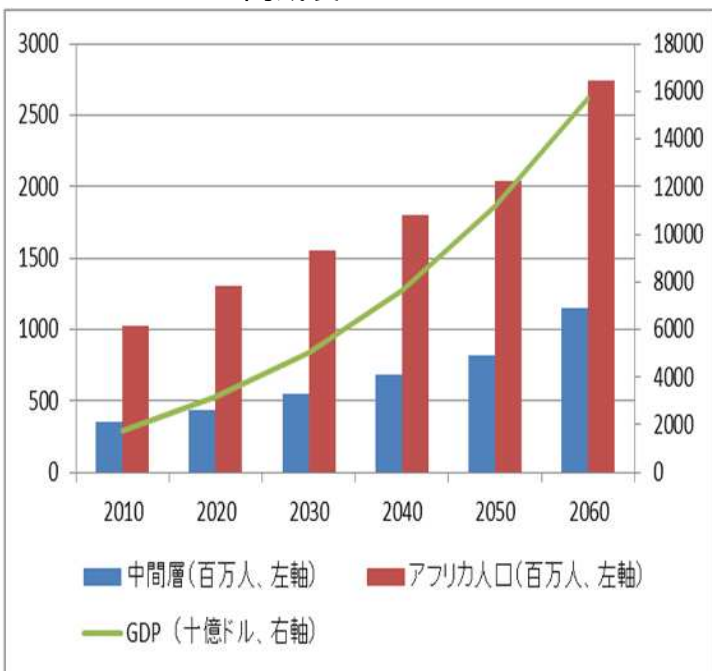
	該当プロジェクト数	直接投資案件数に占める比率(%)
国内市場の潜在成長性	554	52.2
市場/顧客との近接	321	30.3
規制・ビジネス環境	250	23.6
熟練労働者の確保	67	6.3
天然資源	61	5.7
インフラ・ロジスティクス	55	5.2
低コスト	53	5.0

(出所) AFDB, OECD, UNDP African Economic Outlook(2015)より上位を抜粋。fDi Markets(2014)を元データとしてAEOが算出。

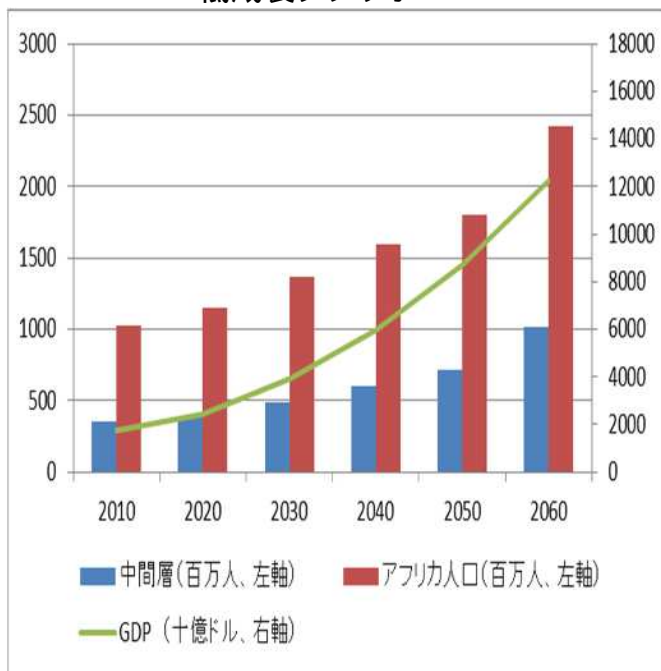
### アフリカ向け投資～中間層

アフリカ開発銀行が2011年に中間層にハイライトしたレポートを発表。中所得層の定義は1日の消費額: 2～20ドル/人。

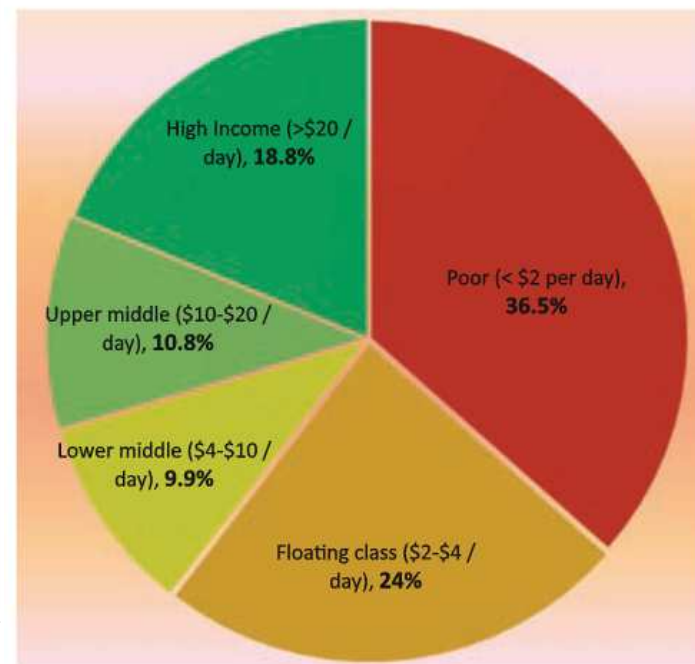
高成長シナリオ



低成長シナリオ



2010年の所得別人口分布



(出所) AfDB "Africa in 50 Years' Time"

(注) 同表の中間層は所得4～20ドル/日

(出所) AfDB "The Middle of the Pyramid: Dynamics of the Middle Class in Africa"

# アフリカ

未来の大陸に対する新しいチャレンジ



## アフリカ向け投資～インフラ

経済の成長と人口の増加はインフラを必要とする。インフラのファイナンスニーズは年930億ドルといわれる。例えば、電力は既に多くの国で不足。今後も電力需要は増大する見込み。

■ アフリカの電力需要の推移 (単位:TWh)

	2000	2012	2020	2030	2040
アフリカ大陸	385	621	852	1,258	1,869
北アフリカ	116	253	338	447	572
サブサハラ・アフリカ	269	368	514	812	1,297
西アフリカ	29	61	107	216	417
ナイジェリア	14	37	68	146	291
中央アフリカ	9	16	26	45	74
東アフリカ	9	23	44	95	177
南部アフリカ	222	268	337	456	630
モザンビーク・タンザニア	4	16	30	60	99
南アフリカ	190	212	248	298	364

出所:IEA Africa Energy Outlook, 2014年6月に作成

アフリカの地域別貿易予測 (単位:百万トン)

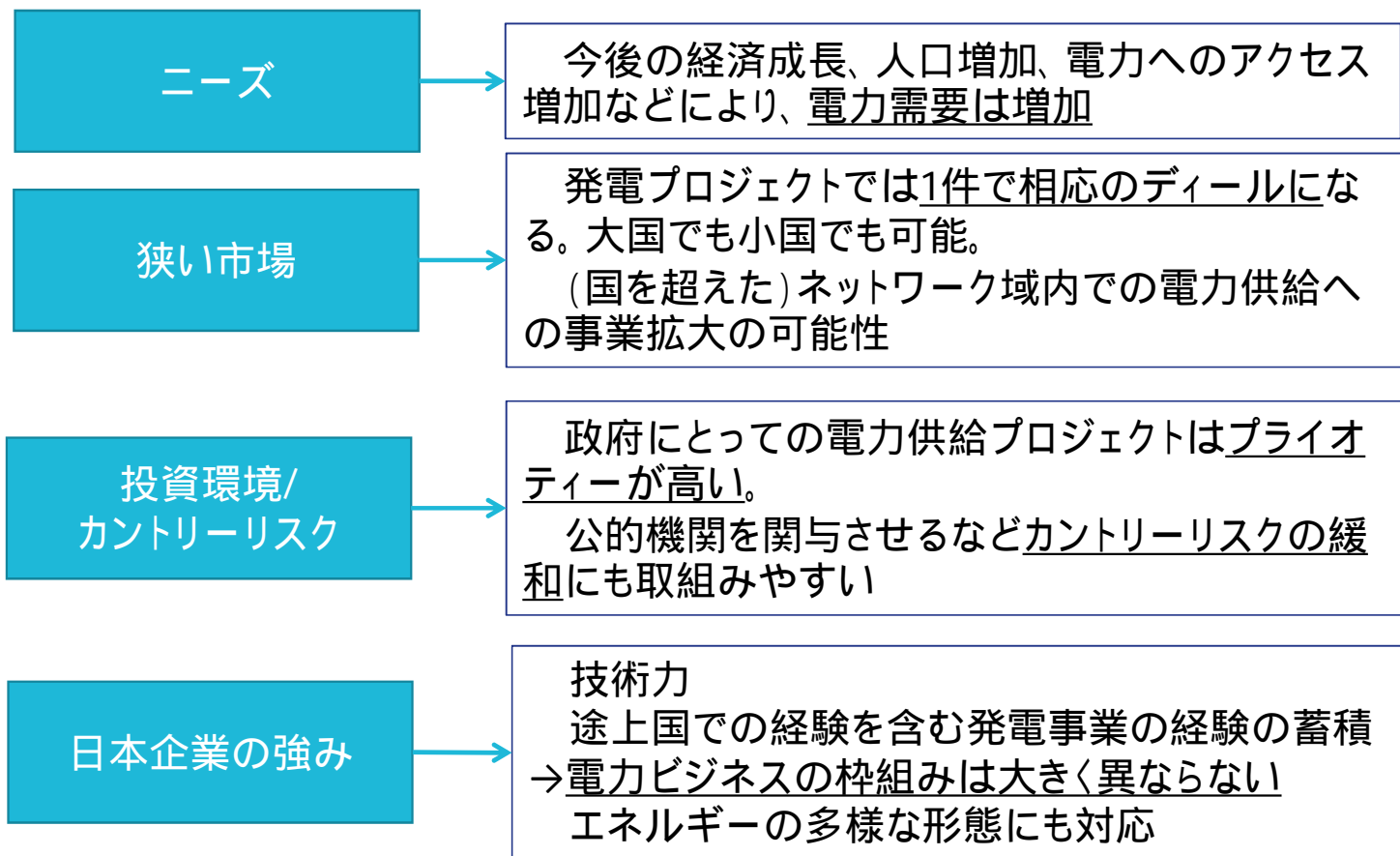
地域	2009	2020	2030	2040
北アフリカ	20	235	410	760
西アフリカ	7	176	300	556
中央アフリカ	21	43	77	145
東アフリカ	45	96	181	360
南アフリカ	240	408	617	1,001
アフリカ全体	513	958	1,585	2,823

(出所)JBIC TODAY 2016/05(元データ:IEA African Economic Outlook)

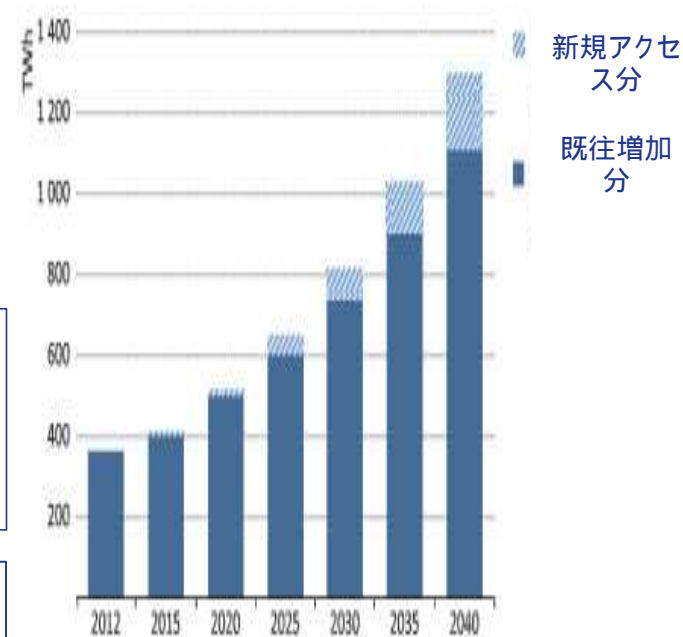
(出所) Programme for Infrastructure Development in Africa "Africa Transport Sector Outlook 2040"



### アフリカ向け投資 ~ 電力ビジネスの可能性



サブサハラの電力需要見通し



(出所) IEA African Economic Outlook

### アフリカ向け投資～投資のスタイル

日本のアフリカ向け対外直接投資残高: 102億ドル (対外直投残高の0.8%)

(出所)財務省

アフリカに投資する日本企業は以下の3類型の要素(いずれかあるいは複数)を持つことが多い。

#### Global Competitor

世界の全ての市場で競争 --- 「成長ゾーンのアフリカを見逃せない。」  
○世界戦略の中でアフリカを位置づける。  
インフラや資源投資、コモディティー化の進んだモノ・サービス

#### Localized Global

国内市場・地域市場を狙った投資  
○経営の現地化が得意な企業 --- 「現地で日本人の姿が見えない」  
買収による進出にもなじみやすい

#### Investor with Focus

特定の国や商品で事業展開  
中小規模の企業にもなじみやすい  
トップダウンの判断にもなじみやすい

(出所)筆者による分類。



### まとめ: アフリカ ~ ビジネスの相手として

#### 経済の見通し

2016年のアフリカ全体の成長率は低下とするとみられ、特に産油国の経済は厳しい。2017年は穏やかに回復の見通し。

ただし、成長率低下の背景としては、ナイジェリアや南アフリカなどの成長低迷の影響が大きく、国によってパフォーマンスの違いが目立つ。非産油国を中心に高成長を続ける国もある。

中期的には、人口増加も後押しとなって、潜在的な成長力は高い地域。

#### 事業機会

潜在的なビジネスの機会は大い。

地域統合や地域インフラの整備はまだ先が長い取組み。地域全体での事業展開には制約が生じることも多く、現時点では特定国を対象とした投資が一般的には取組みやすい。

一口にアフリカといっても地域ごと、国ごとに経済の状況は異なる。また、国単位での市場規模の小ささの問題や投資環境/カントリーリスクの問題がアフリカ投資の上でのポイントとなる。

アフリカ地域全体の動向・傾向をフォローしつつも、  
ホスト国の選択・各国毎の事業戦略が鍵となる。

**「どこの国で、何を、どのように」**

# アフリカ

## 未来の大陸に対する新しいチャレンジ



本紙の内容は個人の見解であり、所属する組織の見解ではありません。



写真はいずれも筆者撮影